

誰もが安心して暮らせる福祉の 住民ぐるみのまちづくり

浦添市社会福祉協議会では、第五次浦添市地域福祉活動計画（てだこハートフルプラン）を作成「ボランティア団体・福祉団体ヒアリング部会（第五次浦添市地域福祉活動計画策定4作業部会）

テーマ：誰もが安心して暮らせるまちにするには？
私たち（ボランティア団体・福祉団体）にできることは？

各種福祉・ボランティア団体から頂いた多くのアイデアやご意見などについては、「第五次浦添市地域福祉活動計画」の中に反映させて頂いています。



生の声（意見等）を掲載させて頂きました。

～自治会関連～



- 自治会員へは情報発信できるが、未加入世帯には情報発信できないことが課題となっている。
- 自治会長が地域のリーダーになる人材を把握し、活用しないといけない。人材育成につながると思う。
- 自治会長も長くやっているとマンネリ化するので若い世代にやってもらいたい。
- シルバー人材センターをシェルターにする。公民館で高齢者が対応（ファミサポ+シルバー人材センター）しかし、場所の問題（公民館活用のしぼり）がある。
- 神森小と内間自治会から声がかかりボランティアに関わっている。今後も要望がある所とは一緒に料理等を通して関わっていききたい。そこから繋がってほしいなと思う。
- 声かけしていく人たちが必要ではないかを感じる…
- 自治会でゆんたく喫茶という活動を実施していて、活動の中でウクレレやカラオケを通して顔見知りになっている。市や社協に相談を希望する方もいるが、隣近所で解決できるような仕組みも大事ではないか？

～募金関連～

- 共同募金等への参加について、約80%の団体が赤い羽根共同募金や歳末たすけあい運動の募金活動に毎年協力している。
- 赤い羽根共同募金等への参加協力できない団体の主な理由として…「その期間中は会活動も活発になるため厳しい」「仕事の都合」「個人的には協力しているが、サークルとしては参加協力していない」「毎年ではないが協力できる年はある」（団体の会員が流動的で活動が不安定になることがあるため）等々…今後、参加協力してもらうための工夫が必要では…



まちづくりをめざして!PART III ～ボランティアと地域福祉～

するにあたり多くの方のご意見をいただきました。その中から、社協だより6月号に引き続き「一」における各種団体との懇談会で実際にいただいたアイデアや意見をご紹介します。

～ボランティア関連～

- 自分たちの老後の事を考えるとボランティアばかりやっていると、若い世代に引き継ぎたいが、後継者がいないのが問題となっている。
- ボラ連はボランティア活動の促進と啓発を目的にしているが、ボランティアをしている方々も高齢化している。後継者を残すためにも自然な形で子どもたちにボランティアの楽しさを伝える場所を作っていく必要がある。また、まつりでのボランティア体験、福祉学習で取り組むのはどうか。
- これまでどおり踊りや訪問活動を続けていきたい。でも、メンバーが高齢化している。
- 小さいころからボランティア活動を行い、子どもに身につけさせることで良い地域になるのでは。
- 障がい者施設などを慰問して、空手（子どもたちの）披露の場を年に1・2か所で行っていないので、もし他に要望があれば披露していきたい。自分たちのできることを必要としている施設や場で関わっていききたい。
- 団体の悩みについてのアンケート回答では約60%の団体が「会員（スタッフ・人材）の確保」を課題としている。続いて「活動財源の確保」「活動内容の充実」「後継者の育成」などとなっている。



～学習支援関連～



- 「ひきこもり支援」、「認知症支援」、「地域に居住している外国人への学習支援」など課題別の取り組みを活動目的とする団体や従来見過ごされそうなニーズへの活動も見られる。
- 学校支援してくれる人を増やしたい。地域の民生委員にお願いして人材確保できればと思っている。
- 主な活動分野について「障がい児・者福祉活動」「高齢者福祉活動」「児童及び子育て支援活動」の順である。
- 人材バンク（教員等）のネットワークがあったらいいな。
- 支援が必要な子どもたちを救いたいと思う。
- 高齢者と子どもたちと文通などができればいいなと思っている。
- 福祉教育をもっとがんばってほしい。

ことばの響きを通して

「誰もが安心して暮らせる福祉のまちづくり」この言葉を見聞きするだけでも、心がほっとする思いがします。第五次地域福祉活動計画策定懇談会に参加して、細やかなアンケートからこの取り組みに関わる人々の想いが伝わります。

ここ（浦添市）に住む誰もがこの地域で暮らせる幸せを感じられるような環境づくりが浸透するよう、共に努めてまいりましょう。私たち朗読会「道」はことばの響きを通して、文学作品を通して心の豊かさに取り組んでいます。



朗読会「道」
代表 嘉数 明美